



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 ヒビノ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2469 URL <http://www.hibino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日比野 晃久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員ヒビノGMC経営企画本部長 (氏名) 大関 靖

TEL 03-3740-4391

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

平成29年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,183	△2.8	270	△78.8	819	△40.5	505	△45.5
29年3月期第2四半期	13,562	3.5	1,274	△9.6	1,377	△5.6	928	△1.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 537百万円 (△40.0%) 29年3月期第2四半期 895百万円 (△3.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	50.55	—
29年3月期第2四半期	92.71	—

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	21,457	8,973	41.8
29年3月期	22,430	8,586	38.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 8,973百万円 29年3月期 8,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年3月期	—	15.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	3.0	1,650	△17.9	2,000	△7.4	1,350	△10.0	134.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2 社 (社名) Hibino USA, Inc.、H&X Technologies, Inc.、除外 1 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	10,265,480 株	29年3月期	10,265,480 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	255,820 株	29年3月期	255,820 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	10,009,660 株	29年3月期2Q	10,009,790 株

(注)当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善等により、総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方で、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループ（当社と連結子会社14社）は、3ヵ年の中期経営計画「ビジョン300」（平成28年3月期～平成30年3月期）に基づき、「音響」「映像」「音楽」「ライブ」分野における多角化とシナジーの創出により強い事業構造を構築する「ハニカム型経営」の実践に取り組んでおります。

日本、アジア、欧州、北米でのワールドワイドな事業展開を目指す「世界4極体制」の構築に向け、第1四半期には、アメリカ・カリフォルニア州に「Hibino USA, Inc.」及び「H&X Technologies, Inc.」の2社を設立いたしました。

当第2四半期連結累計期間は、音響機器販売・施工事業の出足が遅く、コンサート・イベント事業も堅調ながら力強さに欠けた展開となりました。平成29年3月期第3四半期に連結子会社とした株式会社JVCケンウッド・アークス（平成29年7月1日付でヒビノアークス株式会社に変更）の売上高は、主要顧客である官公庁・自治体等への納期に対応して第4四半期に偏重することから、第2四半期連結累計期間は販売費及び一般管理費の負担が重くなります。

また、当社グループの将来の成長に向けた先行投資と位置づける、海外事業展開並びに次世代4K LEDプロセッサの研究開発は、当初の計画以上に順調に進んでおり、それらの費用を販売費及び一般管理費に計上したことなどから、営業利益は前年同四半期を下回りました。経常利益は、特定ラジオマイクの周波数移行に伴う固定資産受贈益を営業外収益に計上したこと等により、営業利益に比べ減少幅が抑えられました。

これらの結果、売上高13,183百万円（前年同四半期比2.8%減）、営業利益270百万円（同78.8%減）、経常利益819百万円（同40.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益505百万円（同45.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [音響機器販売・施工事業]

音響機器販売・施工事業は、施工業務を行う連結子会社が増加したことに伴い、売上高及び利益が第4四半期に集中する傾向が顕著になっております。

音響機器販売・施工事業の機器販売業務においては、放送局市場、設備市場の設備投資意欲は依然旺盛であるものの、特定ラジオマイクの周波数移行に伴う特需が終息したことや、新商品の発売が計画より遅れたこと、納期が延期された案件が発生したこと等により、売上高は前年同四半期を下回りました。

一方、施工業務においては、連結子会社が請け負う一部大型物件の建設工事に遅れが生じている影響により、計画を下回る進捗となっております。ヒビノアークス株式会社による売上高の貢献があったものの、販売費及び一般管理費等の恒常的に発生する固定費を吸収するには至りませんでした。

これらの結果、売上高は7,294百万円（前年同四半期比1.6%増）、セグメント利益116百万円（同83.2%減）となりました。

#### [映像製品の開発・製造・販売事業]

映像製品の開発・製造・販売事業は、訪日外国人の増加への対応や都市圏における再開発等を背景に、大型映像装置の新設・リニューアルに向けた引き合いが増加しております。こうした状況の中、東京・渋谷駅周辺地区再開発の一環で建設された複合施設「渋谷キャスト」をはじめ「横浜・八景島シーパラダイス」「表参道ヒルズ」等にLEDディスプレイ・システムを納入いたしました。前年同四半期の大型案件をカバーするに至らず、減収減益となりました。

これらの結果、売上高は455百万円（前年同四半期比35.6%減）、セグメント利益4百万円（同94.0%減）となりました。

#### [コンサート・イベント事業]

コンサート・イベント事業は、主軸であるコンサート市場で安定的な受注を確保したことに加え、企業イベント、コンベンション市場も好調に推移いたしました。しかしながら、前年同四半期のような突出した大型イベント（G7伊勢志摩サミット及びリオデジャネイロオリンピック・パラリンピック関連イベント）がなかったことや、海外子会社2社の立ち上げに伴う投資が先行したことにより、前年同四半期実績には届きませんでした。

これらの結果、売上高は5,145百万円（前年同四半期比5.7%減）、セグメント利益657百万円（同30.8%減）となりました。

[その他の事業]

その他の事業は、業務用照明機器の販売、システム設計・施工・メンテナンスを行っております。  
売上高は288百万円（前年同四半期比33.2%増）、セグメント利益22百万円（同307.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は21,457百万円となり、前連結会計年度末と比べて973百万円減少しました。これは受取手形及び売掛金が減少したことが主な要因であります。

負債合計は12,484百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,360百万円減少しました。これは賞与引当金、支払手形及び買掛金並びに長期借入金が減少したことが主な要因であります。

純資産合計は8,973百万円となり、前連結会計年度末と比べて386百万円増加しました。これは利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が計画を下回って推移しておりますが、コンサート・イベント事業において第3四半期以降に利益率の高い大型コンサートツアーが複数控えていることや、音響機器販売・施工事業において第4四半期に売上高及び利益が集中することが予想されることから、平成29年5月12日に公表しました予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,400,991	2,222,491
受取手形及び売掛金	7,115,637	5,306,848
商品及び製品	2,699,451	2,851,873
仕掛品	365,250	351,218
原材料及び貯蔵品	95,617	104,231
その他	893,800	915,433
貸倒引当金	△86,634	△59,685
流動資産合計	13,484,114	11,692,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,665,561	1,697,675
減価償却累計額	△1,104,403	△1,139,269
建物及び構築物（純額）	561,158	558,406
機械装置及び運搬具	10,226,997	11,365,945
減価償却累計額	△7,113,830	△7,592,433
機械装置及び運搬具（純額）	3,113,167	3,773,512
工具、器具及び備品	1,253,372	1,491,719
減価償却累計額	△930,458	△1,017,755
工具、器具及び備品（純額）	322,914	473,964
リース資産	2,010,869	1,817,446
減価償却累計額	△1,319,750	△1,163,110
リース資産（純額）	691,119	654,336
その他	762,459	849,624
有形固定資産合計	5,450,818	6,309,843
無形固定資産		
のれん	1,068,001	979,138
その他	337,070	352,460
無形固定資産合計	1,405,072	1,331,598
投資その他の資産		
その他	2,151,521	2,175,944
貸倒引当金	△60,615	△52,266
投資その他の資産合計	2,090,905	2,123,678
固定資産合計	8,946,796	9,765,120
資産合計	22,430,911	21,457,530

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,296,042	1,897,681
短期借入金	1,817,517	1,837,489
1年内返済予定の長期借入金	1,119,432	1,074,924
リース債務	328,667	304,966
未払法人税等	176,779	265,770
賞与引当金	749,120	589,276
資産除去債務	49,630	49,630
その他	1,763,897	1,401,006
流動負債合計	8,301,086	7,420,745
固定負債		
長期借入金	2,643,422	2,198,510
リース債務	535,765	506,809
退職給付に係る負債	2,129,605	2,172,889
資産除去債務	23,586	23,733
その他	210,914	161,347
固定負債合計	5,543,294	5,063,289
負債合計	13,844,381	12,484,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,748,655	1,748,655
資本剰余金	2,054,027	2,054,027
利益剰余金	4,890,818	5,246,663
自己株式	△77,762	△77,762
株主資本合計	8,615,738	8,971,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,865	20,531
繰延ヘッジ損益	77	1,540
為替換算調整勘定	27,729	44,017
退職給付に係る調整累計額	△70,956	△64,249
その他の包括利益累計額合計	△29,283	1,840
非支配株主持分	75	72
純資産合計	8,586,530	8,973,495
負債純資産合計	22,430,911	21,457,530

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	13,562,068	13,183,040
売上原価	8,805,309	8,567,752
売上総利益	4,756,759	4,615,288
販売費及び一般管理費	3,482,014	4,345,008
営業利益	1,274,744	270,279
営業外収益		
受取利息	865	274
受取配当金	3,227	3,492
為替差益	515	1,328
固定資産受贈益	111,514	466,851
その他	54,801	105,036
営業外収益合計	170,924	576,983
営業外費用		
支払利息	34,675	24,383
持分法による投資損失	24,464	—
その他	9,335	3,648
営業外費用合計	68,475	28,032
経常利益	1,377,193	819,230
税金等調整前四半期純利益	1,377,193	819,230
法人税等	449,165	313,244
四半期純利益	928,028	505,985
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	928,028	505,989



## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	928,028	505,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,924	6,666
繰延ヘッジ損益	3,838	1,462
為替換算調整勘定	△38,689	16,287
退職給付に係る調整額	6,639	6,707
持分法適用会社に対する持分相当額	1,266	—
その他の包括利益合計	△32,869	31,124
四半期包括利益	895,159	537,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	895,159	537,113
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	音響機器 販売・施工 事業	映像製品の 開発・製造 ・販売事業	コンサート ・イベント 事業	その他の 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	7,181,599	707,062	5,457,107	216,299	13,562,068	—	13,562,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	321,257	46,160	22,036	9,552	399,006	△399,006	—
計	7,502,856	753,223	5,479,143	225,852	13,961,075	△399,006	13,562,068
セグメント利益	695,032	83,674	949,885	5,451	1,734,045	△459,300	1,274,744

(注) 1. セグメント利益の調整額△459,300千円には、セグメント間取引消去△39,205千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△420,095千円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	音響機器 販売・施工 事業	映像製品の 開発・製造 ・販売事業	コンサート ・イベント 事業	その他の 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	7,294,614	455,073	5,145,187	288,164	13,183,040	—	13,183,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53,301	4,489	138,815	3,320	199,927	△199,927	—
計	7,347,916	459,563	5,284,003	291,484	13,382,967	△199,927	13,183,040
セグメント利益	116,493	4,980	657,548	22,216	801,239	△530,960	270,279

(注) 1. セグメント利益の調整額△530,960千円には、セグメント間取引消去23,350千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△554,311千円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。